

金華市友好訪問団来栃



▲大きな梨にビックリ



▲医師会の先生たちともお会いしました

9月23日～24日、中国浙江省金華市から、^{ウーメンヤー}于萌芽 浦江県人民政府外事弁公室主任を団長とする訪問団一行（6名）が栃木市を訪問しました。

今回の訪問では、JAしもつけ、岩舟町のブランド梨あきづきを栽培する梨農家、栃木市医師会、とちぎメディカルセンター等を視察訪問し、国際交流協会関係者とは昼食懇談会で親交を深めました。

日中関係は相変わらず緊張状態が続いていますが、友好都市同士の面々がお互いに顔を合わせての懇談では、終始和やかな雰囲気です。

今後の交流については、特に農業と医療の分野において、日本の先進的な技術を学びたいという金華市側の要請がありました。

今回は久しぶりの人民政府関係者の訪問団の来訪でしたが、両市において人的交流の往来が継続していくことを望んでいます。

国際理解教室へ外国人講師派遣

5月15日（木）、栃木市立大宮北小学校において、国際理解教室が開かれました。講師には、中国・韓国・ベトナム・マレーシア・アメリカ・ベラルーシの6カ国について話をしてもらいました。それぞれの国の学校生活、日常生活や食べ物について、クイズ形式で話すなど工夫されていました。子どもたちは真剣な表情で話を聞きながらも、楽しい時間を過ごしました。

5月21日（水）、栃木県立栃木高等学校において、「外国人との交歓会」が開かれました。今回は栃木市で外国人相談員をしている望月ケニアさん（ホンジュラス出身）に話をいただきました。

ホンジュラスは中米にある国ですが、日本人には知らないことがたくさんあります。ケニアさんは、ホンジュラスの学校制度や食生活、社会事情、伝統的な音楽などについて話をしてくれました。



▲民族衣装を着て国を紹介



▲熱心に話をきく生徒たち

